

OMA 38シリーズモーターのマウント方向変更方法(リアマウント→フロントマウント)



写真 1

1. 分解

1-1 セキュリティーリングの取外し

セキュリティーリングを固定している2カ所のセキュリティーリング固定ねじをゆるめ、セキュリティーリングを取り外します。(写真1.参照) 固定ねじはロックタイトを使用しているため、ビットのしっかり合った六角レンチまたは六角棒ドライバーを使用してください。



写真 2

1-2. スターター式の取外し

写真2.の様にスターター側のメインシャフト端をプラスチックハンマーで叩きます。



写真 3

1-3. スターター式の取外し

スターターをミドルリングからずらします。

ある程度ずれたら写真3.の様にスターター式とミドルリングを分解しますが、強力な磁力で吸着していますので、分解の際は指詰め等の無い様に気を付けてください。



写真 4

1-4. 真鍮製ワッシャの取外し

ミドルリングの中に真鍮製ワッシャが入っていますので、これを取外します。(写真4.参照)

OMA 38シリーズモーターのマウント方向変更方法(リアマウント→フロントマウント)



写真5

1-5. メインシャフト固定ねじ(ミドルリング側)の取外し
ミドルリングのメインシャフト固定ねじを取外しますが、この固定ねじは冷却用の穴の奥にあり、その位置が分かり難くなっていますが、写真5のようにセキュリティリングの固定用のDカットと同じ位置(角度)にありますので参考にしてください。ミドルリングのメインシャフト固定ねじは2カ所ありますので、2カ所とも取外してください。また、固定ねじはロックタイトを使用して締付けられていますので、ビットのしっかり合った六角レンチまたは六角棒ドライバーを使用してください。



写真6

1-6 (2) .メインシャフトの抜取
メインシャフトはミドルリングに圧入されていますので、写真6のように硬木か金属のブロックにステーター一式を乗せ、プラスチックハンマーなどでメインシャフトを叩きメインシャフトをずらしていきます。



写真7

1-6 (2) .メインシャフトの抜取
ある程度ずれたら写真7のように直径3.5～4.5mmの金属シャフトで更にメインシャフトを叩き、完全に抜取ります



写真8

1-7. 分解の完了
以上で分解は終了ですが、真鍮製のワッシャは小さく紛失しやすいので御注意下さい。(写真8参照)

OMA 38シリーズモーターのマウント方向変更方法(リアマウント→フロントマウント)



写真 9

2. 組立

2-1 セキュリティーリングの取付け

写真 9. の様にメインシャフトに2個の固定ねじでセキュリティーリングを取付けます。取付けにはロックタイトを使用して下さい。

なお、セキュリティーリングには方向があります。段が付いた方がベアリング側になりますのでご注意ください。

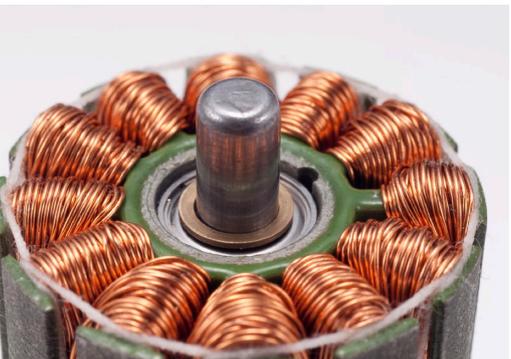


写真 10



2-2 メインシャフトの取付け

写真 10. の様にステーター式に前項でセキュリティーリングを取付けたメインシャフトを差入れます。



2-3 真鍮製ワッシャ取付け

写真 11. の様にステーター式のコイル側に真鍮製のワッシャを取付けます。



2-4 (1) ミドルリング&ステーター式の取付け

ミドルリングにステーター式を取付けますが、メインシャフトのDカットの位置とミドルリングの取付けねじの位置(写真 11. 参照、ねじ位置には白線でマーキングがされています)をおおよそ合わせます。

OMA38シリーズモーターのマウント方向変更方法(リアマウント→フロントマウント)



写真 13

2-4 (2) ミドルリング&ステーター一式の取付け

写真 13. の様にミドルリングを硬木か金属のブロックに乗せ、プラスチックハンマーなどでメインシャフトを叩き圧入しますがセキュリティリングがステーターのベアリングに底付きする直前で止めてください。
(セキュリティリングがステーターに底付きした状態でハンマーで叩くとベアリングを破損する恐れがあります。)



写真 14

2-5 メインシャフトの固定

写真 14. の様にメインシャフトをミドルリングに固定しますが、セキュリティリングの固定ねじ(メインシャフトのDカット)の位置とミドルリングの固定ねじの位置を合わせてください。
また、固定ねじは2カ所ありますので2カ所共固定してください。

以上でOMAモーターのマウント方向(リアマウント→フロントマウント)の変更は終了です。